

地域福祉の担い手に対する支援【事例集の作成】

1 目的

地域で活躍する様々な人たちを後押しするとともに、これから地域で活動する人材を増やす。

2 取組

地域で活動している人たちの事例を紹介する事例集を作成することで、すでに地域で活動している人たちを後押しするとともに、地域福祉や地域での活動に興味を持つ人たちが、活動の第一歩を踏み出せるよう支援する。

3 活用方法（案）

作成した事例集は、次のように活用する。

- ・ 市町村や市町村社協等において開催する、地域で活動する（これからしようとする）人向けの研修や講演会等で活用する。
- ・ 地域福祉担当職員研修など県で実施する研修等において、事例集を用いて地域における活動事例を紹介するとともに事例集の活用について説明する。
- ・ 県のホームページに掲載し活動事例の周知を図る。

4 事例集作成にあたって考慮すべき点（ポイント）

- 個人にフォーカスしたつくり
- 自分もやってみようと思えるような取り組みやすい事例
- これから活動しようとする人が、興味をもってもらえるような事例
- すでに活動している人が「これでいいんだ」と思える内容
- 地域課題に対して、個人や地域の関わり方などチーム（ネットワーク）をどのように形成し取り組んだか
- 取組の中で課題となった点に、どのように乗り越えたかを記載
- 各市町村等の人材育成（研修）で活用できるようなつくり
- 活動するにあたっての不安を解消するよう Q&A を掲載
- 事例集作成後も事例（研修で集めた事例など）を追加（更新）
- 様々な事例を紹介する中で、地域福祉コーディネーターやチームの多様性を示すとともに、チームの概念や意義・重要性を示す。
- 地域福祉コーディネーターの役割として「活動支援」と「導入支援」を事例で紹介
- 機能する組織（チーム）に必要な要素「共通目的」「共通の意欲」「相互作用（支え合い）」←事例集の構成の参考に。
- テーマごとにチームができる。様々なテーマの事例紹介。テーマを合わせていくとまちができる。

- 専門機関はバックアップするというイメージ。(安心して活動できる)
- 活動したいと思った人が、確実に活動に結びつけられる問合せ先の記載
(HP で事例とともに紹介 (場合によっては市町村 HP)、場合によっては Q&A)
※東京オリパラ後のボランティアも事例で、地域の活動に結びつける。
- 事例集は、市町村も活用できるような内容とする。

4 整理すべき点

(1) 事例集全体の構成

- ① 地域福祉について
- ② 紹介する事例について
- ③ 事例
- ④ Q&A
 - ・ ボランティアの保険は？
 - ・ 単発での参加だけどいいか？
 - ・ 地域の活動は責任が伴うのでは？ 等
- ⑤ 活動の案内
 - ・ 市町村ボランティアセンター
 - ・ 自治会
 - ・ 市町村や社会福祉協議会で行う研修や講演会
- ⑥ 相談先の案内
 - ・ 地域包括支援センターにおける総合相談支援事業
 - ・ 生活困窮者に対する自立相談支援事業
 - ・ 市町村や社協の総合相談窓口 等

(2) 事例紹介の構成

別紙 4 - 2 イメージ参照

5 今後のスケジュール

- 平成 31 (令和元) 年度 (前半)
 - ・ 事例集の構成・内容調整
- 平成 31 (令和元) 年度 (後半)
 - ・ 事例の収集
 - ・ 事例集の作成